㊹【新潟県厚生農業協同組合連合会　豊栄病院】

住　　所	〒950－3327　新潟県新潟市北区石動１丁目11－１		病床数：199床
診療科目	内科、内視鏡内科、精神科、心療内科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、麻酔科、歯科		
研修責任者名	関　　慶一（副院長）	連絡先：soumu@toyosaka-hospital.jp 025－386－2311（代表）	連絡先担当者名：島田　玲子（総務課長）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：３人、24年度：３人、25年度：４人、26年度：６人、27年度：６人、28年度：４人、29年度：３人、30年度：４人、令和元年度：２人、２年度：１人		

研修受け入れ可能診療科	学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：地域医療	12人	１人

施設の概説・特徴

当院は下越・新潟医療圏の境界、人口７万強の北区で唯一の急性期及び慢性期、地域医療を展開する199床の一般病院である。現在の診療体制は内科に腎、呼吸器、消化器と、外科、整形、歯科が常勤、外来診療に新潟大学と他医療機関から循環器内科、眼科、泌尿器科と、心療内科、神経内科の応援を受けている。医師は自身の専門以外に横断的診療が求められ、小児と妊産婦以外の幅広い世代が対象のため、経験できる症例は多彩である。院内で完結しえない場合は近隣の高次機能病院と連携して対応している。当地は新新バイパスや高速、JR豊栄駅から近く市内からのアクセスも良いが、田園に囲まれ農業が盛んな地域でもあり、「医食同源」、「医と農や食」に思いをはせるにも絶好である。

研修受け入れ可能診療科の説明

内科での研修となり、外来診療から、“自分で行う”ことを目標としている。問診から診察、検査、その上で治療方針を本人と家族へ伝えることも行う。入院となれば主治医となるが、勿論、“指導医と一緒に考える”ことで自らの臨床力の向上を獲得することを目指す。病気を治療するだけでなく、各々の自立度、生活環境、周りの支援力など背景差をも考慮して退院後の本人と家族の生活が安定して成り立つように計画を立てることが必要で、医療と介護のスムースな相互移行なしに当院の診療は立ち行かない。そのため多職種の連携･協調も大事にしており、中心となる地域医療連携室始めパラメディカルも活気がある。他職種の果たす役割に関してその活動を直に見ることもできるため、関心と興味をもって研修に臨めばプログラム外にも得るものが大きいと考えている。

研修医の当直

月に３回程度の当直を上級医と共に行い、一人での診療は行わない。

処　　遇

●給与：１年次（月額基本給）350,000円（諸手当）当直研修手当19,400円／回、時間外手当
　　２年次（月額基本給）380,000円（諸手当）当直研修手当19,400円／回、時間外手当
●食事：昼食は業者による宅配弁当、売店が利用可能。夕食は周辺の飲食店（レストラン、コンビニ、弁当業者）や出前が利用可能。
●宿舎：住居手当あり　月額50,000円上限
●居室：専用室あり。
●図書・文献：総合医局内の図書・各種雑誌を24時間対応で閲覧可能。
●インターネット環境：各自の机からインターネット接続が可能